

2023 年 8 月 4 日

The Emerging Markets Weekly

中国の冴えない経済指標の結果やリスクオフムードが足枷に

新興国市場:先週末 7 月 28 日のアジア時間の新興国通貨は大半が軟調。前日の米経済指標の良好な結果を受けたドルの上昇が重し。MYR や IDR が値を下げた。一方、CNY は中国株式市場が堅調を支えに上昇。欧米時間は米金利の低下が新興国通貨の支援材料となった。ZAR や MXN は前日比+1.0%超上昇。MXN は 2015 年 12 月以来となる水準をつけた。週初 31 日、アジア時間の新興国通貨はまちまち。冴えない中国の経済指標の結果が新興国通貨の上昇を抑えた。THB が軟調、片や MYR は前日比+1.1%値を上げた。欧米時間はドルが強含む中、新興国通貨は下押しされた。ZAR は前日比▲1.2%下落した。8 月 1 日の新興国通貨は総じて軟調。アジア時間は中国の経済指標の結果が全体を下押した。KRW は韓国 7 月貿易統計で輸出の悪化が嫌気され下落。欧米時間、米 7 月 ISM 製造業景気指数と米 6 月 JOLT 求人件数が市場予想を下振れるも米金利が底堅く推移し、新興国通貨は売られた。ZAR は前日比▲2.5%、BRL は前日比▲1.4%下落した。2 日の新興国通貨は続落。前日の大手格付会社による米国債の格付け引き下げがリスクオフムードを招き、新興国通貨は下落。RUB は原油価格の下落も重しとなり、前日比▲2.2%、KRW は前日比▲1.1%値を下げ、ZAR や MXN も軟調。3 日も新興国通貨の下落が継続。アジア時間はタイの下院議長が 4 日に予定されていた首相指名選挙を延期すると発表し、政治の不透明感が高まって THB が前日比▲1.1%下落。一方、CNY は中国人民銀行(PBoC)が基準値を予想より CNY 高方向に設定したことを受けて上昇した。欧米時間、米 7 月 ISM 非製造業景気指数が市場予想を下回りドルが売られたが、新興国通貨の反発は限定的。BRL はブラジル中央銀行(BCB)が市場予想を上回る利下げを実施したことを受けて前日比▲2.2%値を下げ、MXN と ZAR も前日比▲1.0%超下落した。

アジア:7 月 31 日発表の中国 7 月製造業 PMI は 49.3 と市場予想(48.9)を上回ったが、景気拡大・縮小の分け目となる 50 を 4 か月連続で下回った。中国 7 月非製造業 PMI は 51.5 と 50 を上回ったが、市場予想(53.0)を下回った。中国国務院(政府)は 31 日に不動産市場の健全な発展を促す政策を導入するよう各都市に求めた。8 月 1 日発表のインドネシア 7 月消費者物価指数(CPI)は前年比+3.08%と市場予想(同+3.10%)を下回った。2 日発表の韓国 7 月 CPI は前年比+2.3%と市場予想(同+2.4%)を下振れた。タイ中央銀行(BOT)は 2 日、政策金利を 25bp 引き上げ 2.25%にすることを決定した。

中東欧・アフリカ:3 日発表のトルコ 7 月 CPI は前年比+47.8%と 6 月(同+47.3%)から加速し、市場予想(同+46.8%)を上回った。

ラテンアメリカ:7 月 31 日発表のメキシコ 4~6 月実質 GDP 成長率は前年比+3.7%と 1~3 月期(同+3.7%)からほぼ横ばい推移となり、市場予想(同+3.3%)を上回る結果となった。ブラジル中央銀行(BCB)は 2 日、政策金利を市場予想よりも大幅な 50bp 引き下げて、13.25%にすることを決定した。

金融市場部
マーケット・エコノミスト

堀 堯大

03-3242-7065

takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜

03-3242-7065

yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhc.co.uk

市場概観(ブラジル)

初回から市場予想を上回る幅の利下げを実行

金融市場部
長谷川 久悟

03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

金融政策に関して

ブラジル中央銀行(BCB)は2日、金融政策委員会(Copom)を開催し、政策金利(翌日物金利、Selic)を13.75%から▲50bp引き下げ、13.25%とした(図表1)。決定は5対4の僅差で行われ、4名は▲25bpの利下げを支持した。政策金利の引き下げは2020年8月以来、3年ぶりとなる。なお、ブルームバーグでの事前予想では、41名中30名が▲25bpの利下げを見込んでいた。また、本欄でも▲25bpの利下げを予想していた。声明文においては、「最近開催された国家通貨審議会(CMN)でのインフレ目標の決定後、長期の期待インフレの低下と相まって、ラグを伴って発現した金融政策の効果を部分的に反映したインフレシナリオの改善は、漸進的な金融緩和サイクルを開始するための自信を与えた」としており、利下げサイクル開始の理由を説明した。CMNに関しては、インフレ目標に関し、今まで通年ごとに設定だったのを、先行き2年間の継続目標と変更した。2025年以降のインフレ目標は+3%と不変だが、目標の柔軟化であり、ハト派と評価ができる内容であった。

なお、金融政策の先行きに関しては、「委員会は、インフレシナリオが予想通りの展開になれば、次回以降の会合においても同規模の追加利下げを実施することを、全会一致で予想する。このペースが、デysinフレシナリオに必要な縮小的金融政策を維持するのに適切であると判断する。」としており、予想通りのインフレパスとなれば、次回会合以降でも▲50bpの利下げを継続する姿勢を示した。

域内の物価動向に関し、最新の6月のインフレ率(IPCA)は前年比+3.16%と市場予想(+3.14%)を小幅に上回ったものの、5月(+3.94%)からは大幅に伸びが鈍化した(図表2)。2020年9月以来の低い伸びであるとともに、2020年10月以来2年半以上ぶりに中銀によるインフレ目標の中央値(2023年:+3.25%)を下回った。先行きに関しては、特に8月以降は昨年行われたインフレ抑制政策の反動で水準を切り上げる公算が大きい。あくまでベース効果の影響なので過剰に反応する必要はないが、年末にかけインフレ目標の上限(2023年:+4.75%)を再度上回る可能性もあると考えている。

かかる中、先々のインフレ見通しは、5月半ば以降じりじりと下方修正が続いている。BCBの市場サーベイ(7月28日集計)によれば、市場参加者のIPCA見通しは、2023年で前年比+4.84%、2024年で同+3.89%という(図表3)。前回会合時点の調査より、それぞれ▲0.28%ポイント、▲0.11%ポイント下方修正されている。なお、BCBの見通しによれば、通年のインフレ率に関し2023年に前年比+5.0%、2024年に同+3.4%となっており、こちらは前回会合から2023年が▲0.1%ポイント下方修正されている。また、2025年の見通しに関しては新たに同+3.0%に設定された。

インフレ見通しのリスクバランスに関する文言に関しては、上下双方向に広がっているとの判断は不変だった。ただし、インフレの上振れリスクで挙げていた「新たな財政規則に関する若干残存する不確実性」に関しては、文言そのものが削除された。前回会合以降、財政規則案の大部分が議会を通過したことを受け、BCBが警戒姿勢を解除した可能性が高い。こうした中、上述のBCBサーベイでは、2023年末の政策

金利見通しが 12.00%と前回会合時(12.25%)から下方修正(図表 4)。市場による利下げペースの加速期待も徐々に高まっているといえるだろう。

以上、BCB は利下げサイクルを開始させたが、そのスタートは本欄及び市場予想を上回る幅で行われた。決定は 5 対 4 の僅差であり、Copom 内でもせめぎあいがあったのだろう。この点、5 月に新たに Copom メンバーに指名されたにガブリエル・ガリプロ氏とアリソン・アキノ・ドスサントス氏はともに▲50bp の利下げを支持しており、新人事が BCB のハト派傾斜に大きく影響したと考えられる。新人事が無かりせば、今回の決定は▲25bp の利下げになった可能性もある。

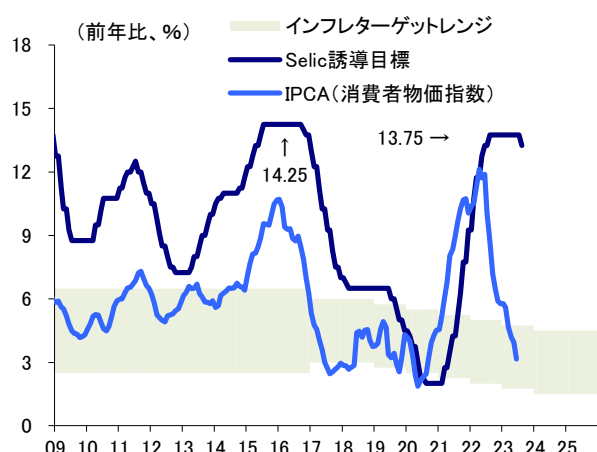
先行きに関しては、しばらくは BCB が示唆する通り▲50bp の利下げが続くだろう。BCB は、「ディスインフレのプロセスが強化され、インフレ期待が目標の中心に固定されるまで、縮小的金融政策を維持する必要がある」としており、インフレ予測の大幅な低下がない限り、利下げペースの拡大は支持されない。よって、年内残りの 3 会合でも▲50bp の利下げが行われ、年末時点の政策金利は 11.75%で着地すると予測したい。

米大手格付機関によるブラジル国債の格付け変更に関して

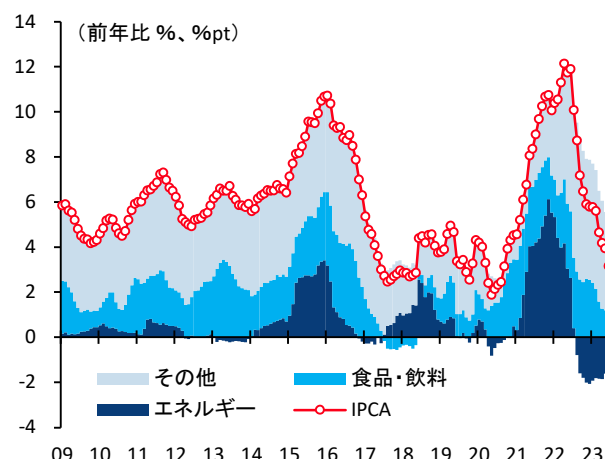
7 月 26 日、米大手格付機関はブラジルの長期債務の格付を従来の「BB-」から「BB」に引き上げた。なお、6 月には他の格付機関が見通しの引き上げを行っており、特段新味のある話ではない。よって、為替相場もこれを大きく材料視した気配はなかった。経済の予想以上の底堅さや、財政懸念の後退が格付引き上げの主因とのことだ。しかしながら、域内の財政収支は 22 年半ば以降悪化傾向にあり、税制改革や新財政規則案の承認が順調に進んでいるとはいえ、投資適格級への格付引き上げには長い距離があるという見立ては変わらないだろう(図表 5)。本欄では、継続的な格付引き上げは想定していない。なお、ここ数か月、域内の財政に対する楽観姿勢は過度に強まっている可能性は否定できない。足許では経済が堅調なだけに悲観ムードが流行りにくいという背景があると思われ、今後の経済動向次第では財政懸念が蒸し返される展開も考えられる。

BRL 相場に関して

7 月以降の BRL 相場は、一進一退を繰り返しつつ、4.8 を挟んだレンジ推移に終始している(図表 6)。FRB の利上げ打ち止め観測や好調な域内の経済指標に加え、底堅い商品市況が BRL の上昇要因になったようだ。他方、BCB の利下げを見込み向きは、BRL 安として作用しただろう。先行きの BRL 相場は、弱含みを想定している。上述の通り、BCB の利下げは継続的に行われる見込みであり、域内金利には低下圧力がかかるだろう。また、それに連関し、キャリー目的の BRL 買い圧力も後退に向かうと予測する。加えて、中国経済回復が遅れる中、同国向けの輸出減を通じ実需面も BRL 安に寄与すると考える。ただ、FRB の動向や資源価格次第では BRL が強含む可能性もあるだろう。

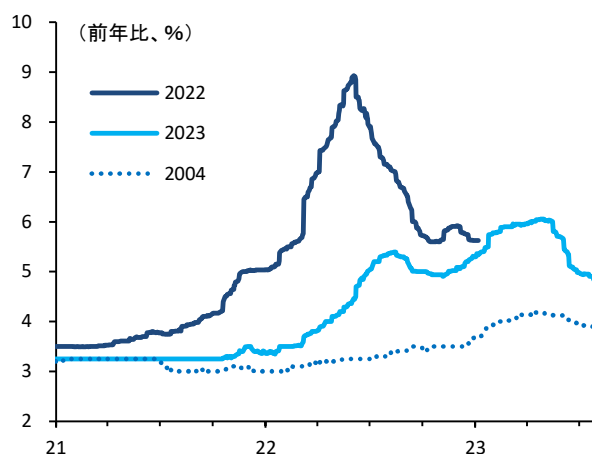
図表 1: 政策金利とインフレ率(IPCA)


出所: ブラジル中央銀行、ブラジル地理統計院、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: インフレ率(IPCA)の品目別寄与度


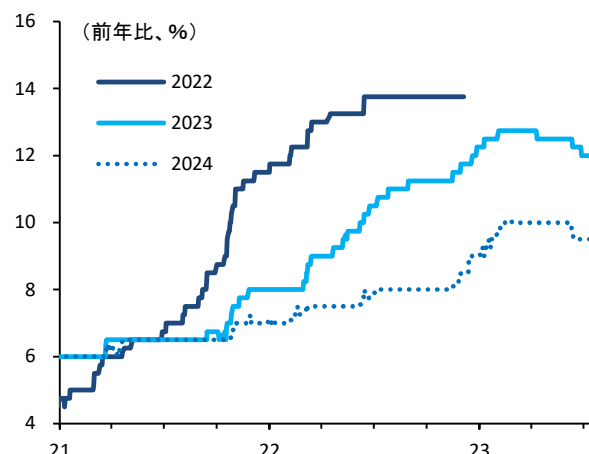
(注) エネルギーは国内燃料と自動車用燃料の合計

出所: ブラジル地理統計院、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 3: BCB 市場サーベイ(年間 IPCA 見通し、中央値)


(注) 2023 年 7 月 28 日時点

出所: ブラジル中央銀行、Macrobond、みずほ銀行

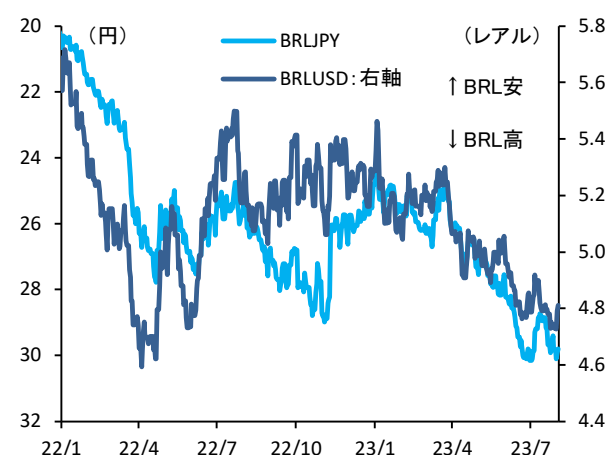
図表 4: BCB 市場サーベイ(年末の政策金利見通し、中央値)


(注) 2023 年 7 月 28 日時点

出所: ブラジル中央銀行、Macrobond、みずほ銀行

図表 5: 政府の基礎的財政収支(対 GDP 比、12 か月合計)


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: BRL スポットレート(日足)


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

市場概観(タイ)

8 月金融政策委員会～将来の政策対応余地の拡大を念頭に利上げを継続

金融市場部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

タイ中央銀行(BOT)は 2 日に金融政策委員会を開催し、政策金利を従来の 2.00% から 2.25%に引き上げた(図表 1)。委員会メンバーの全会一致での決定となった。政策金利の引き上げは 7 会合連続での実施となり、利上げ幅は従前の 25bps を維持した。ブルームバーグの事前予想でも 25bps の利上げ予想が有力であった。

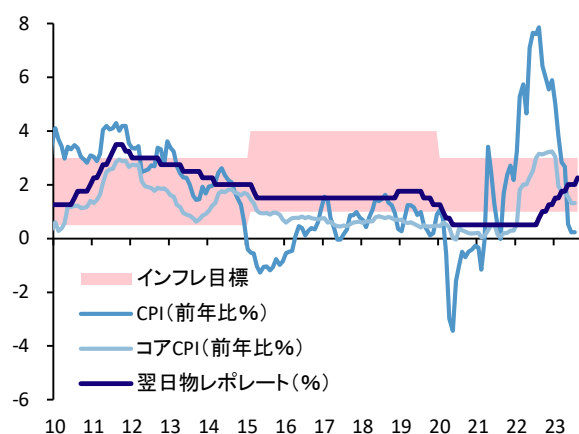
声明文では国内経済について、個人消費と観光関連産業の回復が継続し、今後もタイ経済を支えていくとの見方を示した。コロナ前の経済に戻るのに約 3 年の時間を要したものの、今後の景気回復も堅調に進んでいくとの見方を示した(図表 2)。一方で、具体的な数字への言及はなかったが、BOT は中国経済の減速に伴い輸出が伸び悩んだことも相まって、23 年の成長予想が下振れする可能性を示唆。また、5 月の総選挙以来、首相の選出が滞っていることも先行きのリスク要因として指摘した。

物価動向に関しては、直近の 6 月消費者物価指数(CPI)が前年比+0.2%と 5 月の同+0.5%から更に減速。生鮮食品とエネルギー価格を除いたコア CPI も同+1.3%とインフレ鈍化は着実に進んでおり、BOT の目標レンジに(+1.0%~+3.0%)収束している(図表 3)。もっとも、BOT は観光施設の本格稼働に伴うサービス価格の高止まりのほか、気候変動による食料品価格の再上昇、エネルギー価格のボラティリティ上昇など複数のインフレ要因を指摘しており、こうした要因も BOT の追加利上げの決定材料となったものと考えられる。

かかる中、BOT は利上げの継続を決定した。今後についても、物価の安定と持続可能な景気拡大および金融安定を目指すとし、従来の姿勢から大きな変化はなかった。声明文でも言及があった通り、企業部門の資金調達動向は緩やかながら抑制傾向にあり、断続的に実施してきた利上げの効果も現れてきている印象だ(図表 4)。また、政策決定後の会見では、不透明な先行きを踏まえた今後の利下げ余地を拡大させるような発言も見られた。以上、BOT は引き続きインフレに警戒感を示すも、国内の金融環境や世界経済の先行きに鑑みれば利上げ終了は着実に近づいていると総括できる。

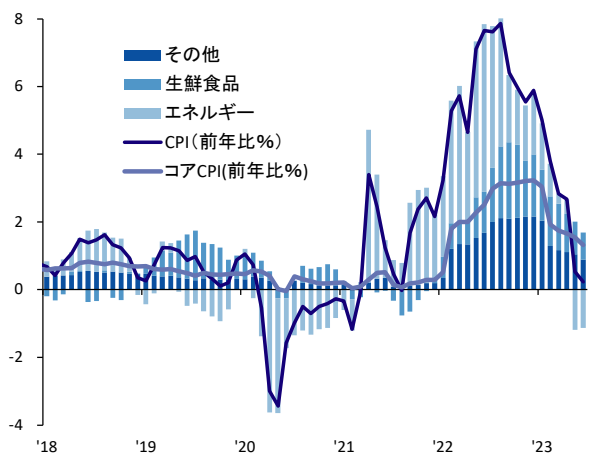
為替について、今回の政策決定前後で大きな値動きはなかった。また、その内容を見ても市場での BOT の利上げを織り込む動きは弱まりつつあり、金利面で THB が選好される可能性は低い。また、足許の報道を踏まえれば新政権樹立に関する交渉は THB の下落リスクと整理しておくべきだろう。一方で、米国ではインフレの鈍化が確認されているものの、7 月 FOMC の結果を踏まえれば FRB の早期のハト派転換は見込みにくい状況にある。7 月雇用統計、インフレ関連指標の結果に相場が動く可能性はあるが、下旬のジャクソンホール経済シンポジウムではインフレ収束に対しては慎重な姿勢を示す可能性が高く、ドル安には傾きにくいものと考えられる。以上を勘案し、8 月の THB は上値の重い推移を想定している。

図表 1: タイの政策金利とインフレ率



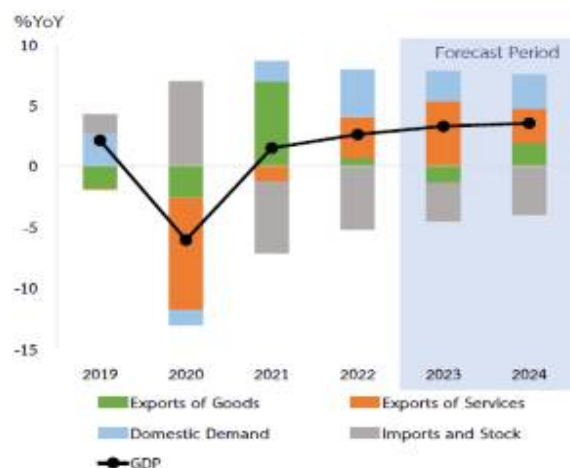
出所: タイ中央銀行、タイ商務省、CEIC、みずほ銀行

図表 3: CPI の動向 (前年比%、%ポイント)



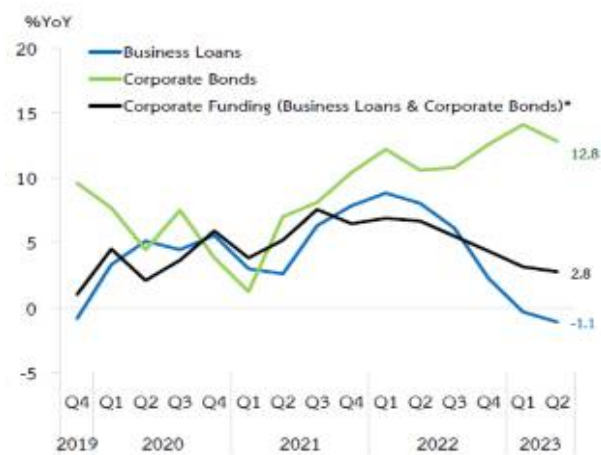
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 2: BOT の経済成長見通し (前年比%)



出所: BOT

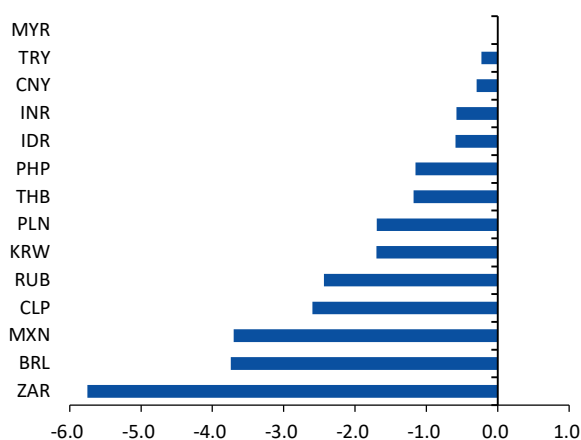
図表 4: 企業部門の資金調達動向 (前年比%)



出所: BOT

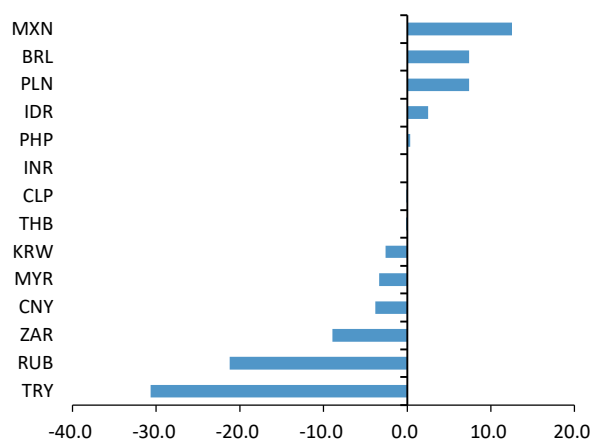
資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



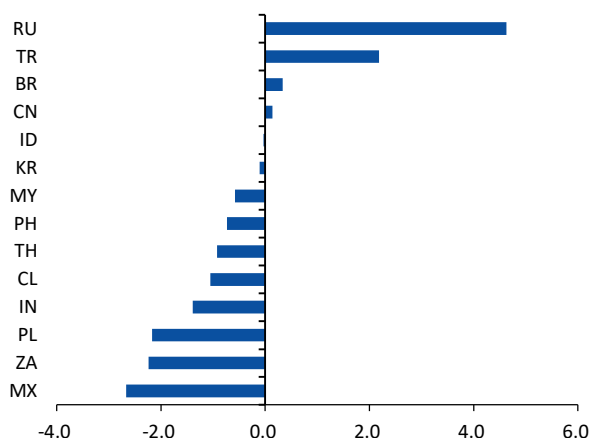
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



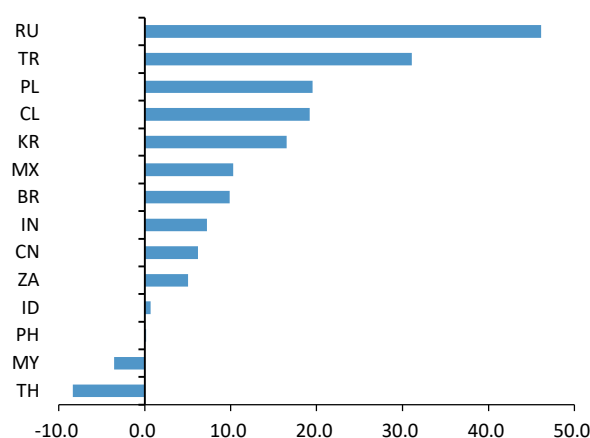
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



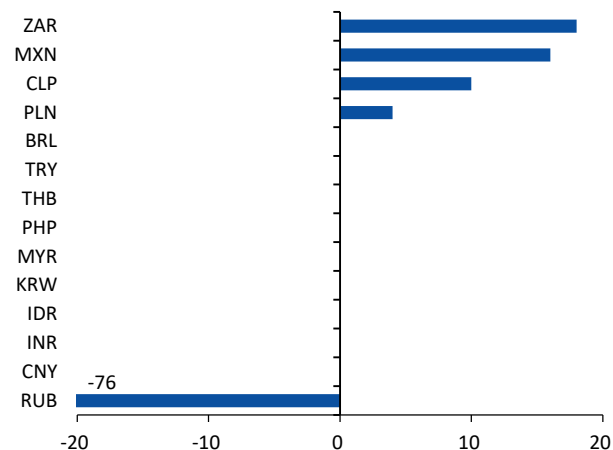
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

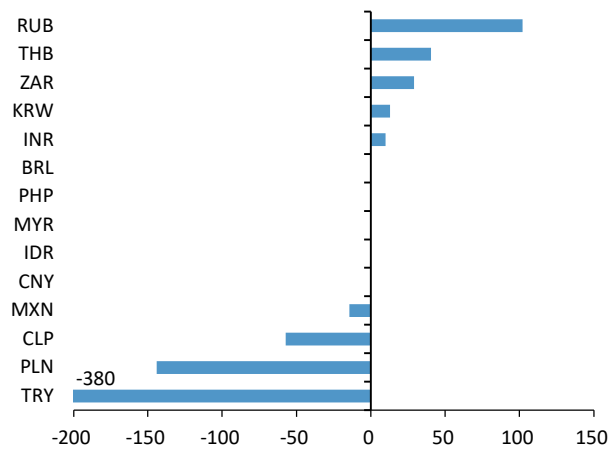
5 年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

5 年物スワップレート年初来変化(bp)

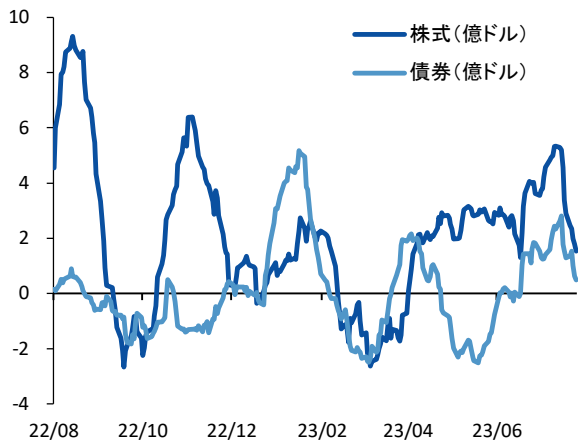


注: データの都合によりブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

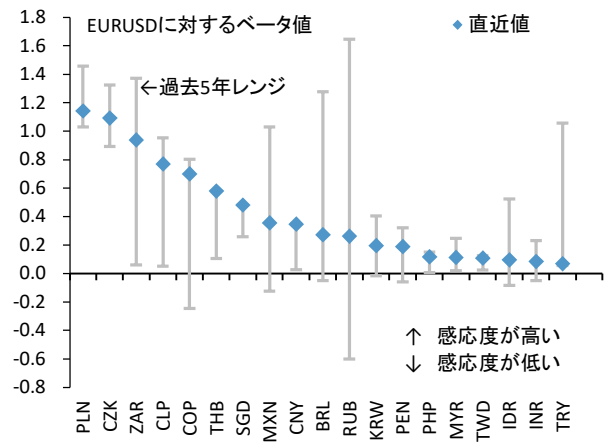
チャート集

主要新興国への証券投資(4週間移動平均)



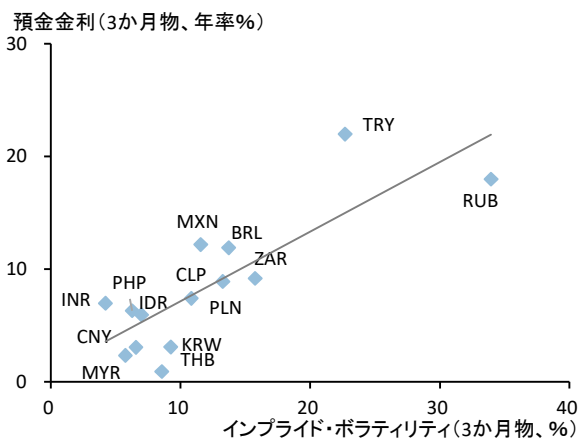
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

EM通貨(対ドル)のEURUSDに対する感応度(過去12か月)



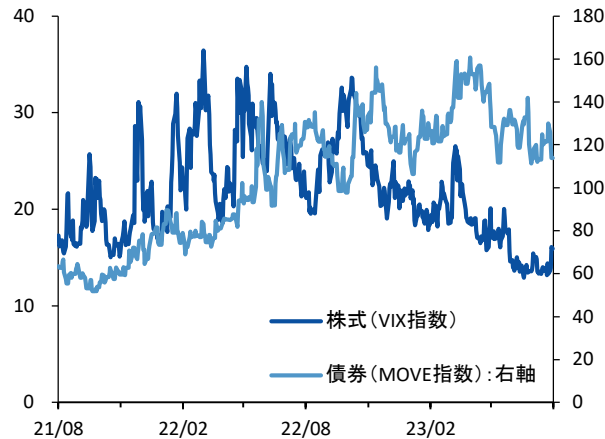
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国の預金金利と為替ボラティリティ



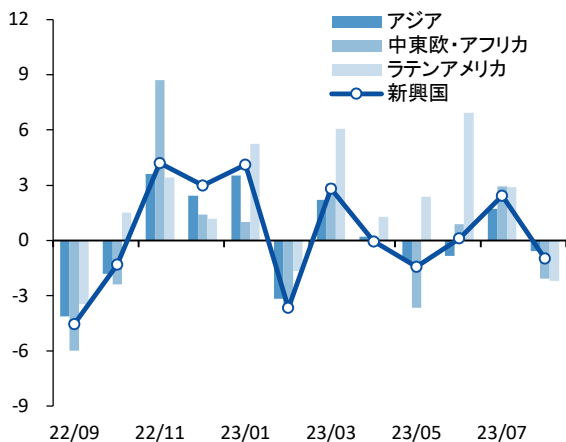
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株式と債券のボラティリティ(VIX指数、MOVE指数)



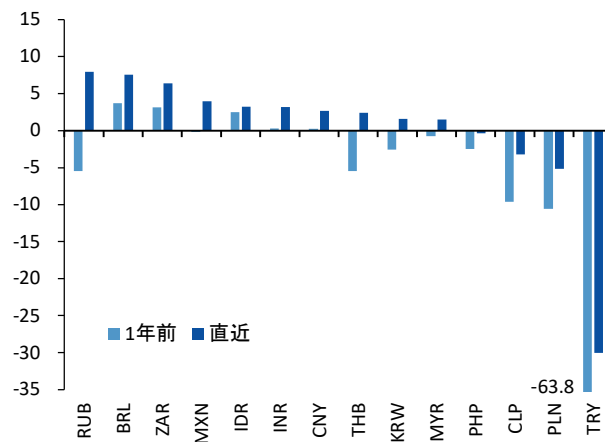
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

実質金利(10年物国債金利 - 消費者物価上昇率、%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
7月31日 (月)	中国	製造業PMI	48.9	49.3	49.0	--
31日 (月)	中国	非製造業PMI	53.0	51.5	53.2	--
31日 (月)	タイ	国際収支:経常収支	\$1221m	\$1449m	-\$2766m	--
8月1日 (火)	韓国	貿易収支	\$2600m	\$1630m	\$1130m	\$1126m
1日 (火)	中国	Caixin中国製造業PMI	50.1	49.2	50.5	--
1日 (火)	インドネシア	CPI(前年比)	3.1%	3.1%	3.5%	--
2日 (水)	韓国	CPI(前年比)	2.4%	2.3%	2.7%	--
2日 (水)	タイ	タイ中央銀行指標金利	2.25%	2.25%	2.00%	--
2日 (水)	シンガポール	購買部景気指数	--	49.8	49.7	--
3日 (木)	中国	Caixin中国PMIサービス業	52.4	54.1	53.9	--
4日 (金)	フィリピン	CPI YoY 2018=100	4.9%	--	5.4%	--
4日 (金)	シンガポール	小売売上高(前年比)	2.1%	--	1.8%	--
7日 (月)	タイ	CPI(前年比)	0.6%	--	0.2%	--
7日 (月)	インドネシア	GDP(前年比)	5.0%	--	5.0%	--
8日 (火)	韓国	国際収支:経常収支	--	--	\$1927.2m	--
8日 (火)	フィリピン	貿易収支	--	--	-\$4396m	--
8日 (火)	マレーシア	鉱工業生産(前年比)	--	--	4.7%	--
8日 (火)	台湾	CPI(前年比)	--	--	1.8%	--
8日 (火)	台湾	貿易収支	--	--	\$5.96b	--
8日 (火)	中国	貿易収支	--	--	\$70.62b	--
9日 (水)	中国	CPI(前年比)	--	--	0.0%	--
9日 (水)	中国	PPI(前年比)	--	--	-5.4%	--
10日 (木)	フィリピン	GDP(前年比)	--	--	6.4%	--
10日 (木)	インド	RBI政策金利	--	--	6.5%	--
11日 (金)	インド	鉱工業生産(前年比)	--	--	5.2%	--
中東欧・アフリカ						
7月31日 (月)	南ア	貿易収支(ラント)	5.0b	-3.5b	10.2b	9.6b
8月3日 (木)	ロシア	実質小売売上高(前年比)	9.5%	10.0%	9.3%	--
3日 (木)	トルコ	CPI(前年比)	46.8%	47.8%	38.2%	--
3日 (木)	トルコ	PPI 前年比	--	44.5%	40.4%	--
10日 (木)	ロシア	CPI(前年比)	--	--	3.3%	--
10日 (木)	トルコ	鉱工業生産(前年比)	--	--	-0.2%	--
10日 (木)	南ア	製造業生産(季調前/前年比)	--	--	2.5%	--
11日 (金)	トルコ	経常収支	--	--	-7.93b	--
ラテンアメリカ						
7月31日 (月)	メキシコ	GDP(季調前/前年比)	3.3%	3.7%	3.7%	--
8月1日 (火)	ブラジル	鉱工業生産(前年比)	-0.1%	0.3%	1.9%	--
2日 (水)	メキシコ	送金総額	\$5462.7m	\$5571.5m	\$5693.1m	--
2日 (水)	ブラジル	貿易収支(月次)	\$8000m	\$9035m	\$10592m	--
3日 (木)	ブラジル	SELICレート	13.50%	13.25%	13.75%	--
7日 (月)	ブラジル	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	--	--	-1.5%	--
9日 (水)	ブラジル	小売売上高(前年比)	--	--	-1.0%	--
9日 (水)	メキシコ	CPI(前年比)	--	--	5.1%	--
11日 (金)	メキシコ	オーバーナイトレート	--	--	11.25%	--
11日 (金)	ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	--	--	3.2%	--
11日 (金)	メキシコ	鉱工業生産(季調前/前年比)	--	--	3.9%	--

注: 2023 年 8 月 4 日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替相場見通し

	2023年 1～7月（実績）	SPOT	2023年 9月	12月	2024年 3月	6月	9月
対ドル							
エマージングアジア							
中国人民元 (CNY)	6.6910 ～ 7.2688	7.1697	7.00	6.95	6.90	6.85	6.80
香港ドル (HKD)	7.7920 ～ 7.8500	7.8072	7.83	7.82	7.82	7.80	7.76
インドルピー (INR)	80.883 ～ 82.949	82.734	83.8	82.0	80.4	79.6	79.6
インドネシアルピア (IDR)	14565 ～ 15643	15186	15600	15000	14900	14800	14600
韓国ウォン (KRW)	1216.30 ～ 1343.02	1299.28	1290	1280	1260	1240	1220
マレーシアリングギ (MYR)	4.2250 ～ 4.6918	4.5553	4.68	4.43	4.36	4.28	4.19
フィリピンペソ (PHP)	53.628 ～ 56.438	55.526	56.6	53.8	53.5	53.0	52.8
シンガポールドル (SGD)	1.3032 ～ 1.3576	1.3413	1.33	1.33	1.34	1.33	1.32
台湾ドル (TWD)	29.608 ～ 31.491	31.626	31.5	30.8	30.5	30.0	29.5
タイバーツ (THB)	32.57 ～ 35.74	34.60	35.0	33.8	32.8	32.7	32.5
ベトナムドン (VND)	23415 ～ 23858	23753	24500	23800	23700	23600	23400
中東欧・アフリカ							
ロシアルーブル (RUB)	67.0415 ～ 92.8750	94.1579	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0
南アフリカランド (ZAR)	16.6950 ～ 19.9204	18.6757	17.5	17.0	17.0	17.0	17.0
トルコリラ (TRY)	18.4339 ～ 27.0326	26.9971	26.0	24.0	22.0	24.0	26.0
ラテンアメリカ							
ブラジルリアル (BRL)	4.6967 ～ 5.4798	4.9156	4.85	5.00	5.05	5.10	5.10
メキシコペソ (MXN)	16.6262 ～ 19.5882	17.3326	17.8	18.3	18.5	18.6	18.8
対円							
エマージングアジア							
中国人民元 (CNY)	18.793 ～ 20.054	19.904	20.14	20.43	20.29	20.15	20.15
香港ドル (HKD)	16.295 ～ 18.508	18.255	18.01	18.16	17.90	17.69	17.65
インドルピー (INR)	1.559 ～ 1.769	1.723	1.68	1.73	1.74	1.73	1.72
インドネシアルピア (100IDR)	0.831 ～ 0.967	0.938	0.904	0.947	0.940	0.932	0.938
韓国ウォン (100KRW)	9.915 ～ 11.194	10.968	10.93	11.09	11.11	11.13	11.23
マレーシアリングギ (MYR)	29.106 ～ 31.666	31.378	30.13	32.05	32.11	32.24	32.70
フィリピンペソ (PHP)	2.325 ～ 2.625	2.574	2.49	2.64	2.62	2.60	2.59
シンガポールドル (SGD)	96.55 ～ 107.29	106.26	106.02	106.45	104.32	104.15	103.79
台湾ドル (TWD)	4.205 ～ 4.663	4.520	4.48	4.61	4.59	4.60	4.64
タイバーツ (THB)	3.770 ～ 4.175	4.119	4.03	4.20	4.27	4.22	4.22
ベトナムドン (10000VND)	0.5430 ～ 0.6146	0.6000	0.58	0.60	0.59	0.58	0.59
中東欧・アフリカ							
ロシアルーブル (RUB)	1.521 ～ 1.948	1.514	1.53	1.53	1.49	1.45	1.43
南アフリカランド (ZAR)	6.909 ～ 8.070	7.632	8.06	8.35	8.24	8.12	8.06
トルコリラ (TRY)	5.108 ～ 7.482	5.272	5.42	5.92	6.36	5.75	5.27
ラテンアメリカ							
ブラジルリアル (BRL)	23.723 ～ 30.405	28.982	29.07	28.40	27.72	27.06	26.86
メキシコペソ (MXN)	6.651 ～ 8.541	8.223	7.92	7.76	7.57	7.42	7.29

注: 1. 実績の欄は 2023 年 7 月 31 日まで。SPOT は 8 月 4 日の 7 時 20 分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。